

安倍政権の狙う 国保税大幅値上げ 公費1兆円の投入で大幅引き下げが可能

病気などでお医者さんにかかった時に支払う医療費を管理するのが国民健康保険（以下、国保）です。

国保には自営業者や非正規の方が多く加入しています。今回、自民党政権は国保会計の国負担率を制度開始当時の1/2から1/4に減らし、加入者負担の増額を押し付けて来しました。

更に、昨年4月から「国保の都道府県化」をスタートさせました。年度末の厚労省の調査では、23%の自治体が保険料を引き上げたと報道されましたが、共産党の調査では、実際は28%の自治体引き上げたことが分かりました。

集計上のやり方に問題がある



ったようですが正確な報道を望みます。

安倍政権はこの6月ごろまでに市町村の国保税率を県が定めた「標準保険税率」にするよう求めています。「標準保険税率」にすると、全国平均で4万9千円程度の値上げとなると言われています。市町村は「標準保険税率」に従う義務はありませんが、池田町でも来年度以降の値上げが心配です。

全国知事会も求めている

ちよつと待って！

安倍政権が表明した10月の消費税10%。今のままで増税すれば景気の落ち込みは明らかだと経済の専門家も不安を表明しています。ここで自分の生活を考えると見た時日々の生活に余裕があるわけではありません。明らかに個人消費は落ち込むものと考えられます。

消費税10%

世論調査でも小売業者の8割が悪影響だと回答しています。社会保障のための増税と言われれば「仕方がない」とつぶやく声が聞こえてきそうですが「ちよつと待って！」と言いたい人は多いはず。食品は軽減税率だといって

も現状維持で、その他のものがすべて10%となれば家計への影響は計りしれません。

団塊世代（70歳前後）以降の高齢者は年金も下がりつつあり決して安心できる状況ではないと思います。

大企業には法人税を減税し企業の内部留保を増やす政府のやり方は理解できません。10%の増税分は4兆6千億円とのことですが、富裕層の



優遇税制を見直したり、1機百億円の戦闘機147機も購入するアメリカとの約束を制限するなど転換を図れば、財源の確保は可能となるのではないのでしょうか。

政府のやり方は国民の方を向いていません。経団連所属企業から多額の献金を受け取り大企業優先の政策を今後も実行し続けるとすれば国民の意欲は低下していきます。

私は国民が経済的に安定することが最も経済の好循環を生むものと思っています。

3丁目 薄井百子

ファンクラブより お詫びとお願い

○諸々の事情で「ファンクラブの親睦旅行」を10月16日（水）に延期させていただきます。再度のお願いで申し訳ありません。

○「ファンクラブニュース」発行のための募金をお願いしております。協力していただける方は役員までお願いします。

○参議院選挙で、野党共闘と共産党の議席を増やすためにあなたのお力をお貸しください。



部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 うすい 孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

こんどは参議院選挙！

あなたのお力をお貸しください

統一地方選挙が終わり、参議院選挙が7月4日公示、21日投票で行われる予定です。参院選は暮らしや将来に希望が持てる政治に切り替える選挙になります。消費税増税や九条改憲で生活も平和も壊す政治を終わらせるために、力いっぱい頑張ります。

馬、新潟、福井、三重、和歌山の8選挙区での野党統一予定候補の一本化に合意しました。合意済みの愛媛、熊本、沖縄の3選挙区と合わせ、計11選挙区での一本化が確認されました。

長野県でも一本化の方向で進んでいます。（写真 しんぶん赤旗提供）参院選で共産党が躍進し、野党共闘で与党が3分の2を割れば、改憲の発議ができなくなります。

過半数を割れば「数の力」で押し通す国会運営ができません。

文芸欄

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。



短歌

鶉（ひよどり）の波打つ如き我が暮らし
起伏巖しき老齡航路

俳句

牡丹咲く 誕生記念の白さかな

ラム有明

今プラスチック問題が頭から離れない。電子レンジを使うたびに「サランラップからクレラップ」に変えたのは何年前だったかな。かなり前になるが塩化ビニールを燃やすと有害なダイオキシンが発生するというのでポリエチレン系に変えた記憶がある▼ともあれ今月に入ってプラスチックごみの削減に関する報道が多いことに気が付く。今まで日本は回収したプラスチックの多くを中国など国外に輸出していたが2年前から受け入れ禁止となり、さらに有害廃棄物の輸出入制限をする「バーゼル条約」により2年後からは中国以外の国への輸出もできなくなる▼年間900万トンの資源ごみのうちリサイクルは2割程度で8割はそのままに放置されると言うことか。海洋にも年間1億トンという驚くべき大量のプラごみが浮いたり沈んだりしているようだ。事実を知れば知るほど驚くばかりで疑問が浮かぶ。ラベルを剥いだペットボトルとキャップ以外のプラごみは焼却するようになるのではないかと心配になる▼今のままではプラごみが陸から川に流れ海に入る量が増え、最近の調査では東京湾のカタクチイワシの8割にマイクロプラスチックが入っているという。日本は世界で2番目に廃棄プラの多い国だと聞いたが、今日から私たちにできることを真剣に考えなければと思っ

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

木、島、形、たに、う、人、32、全、院、き、談、事、社、民、21、日、国、会、内、で、書、記、局、長、・、幹、事、長、会

